

生まれ変われ！天神西通り

概要

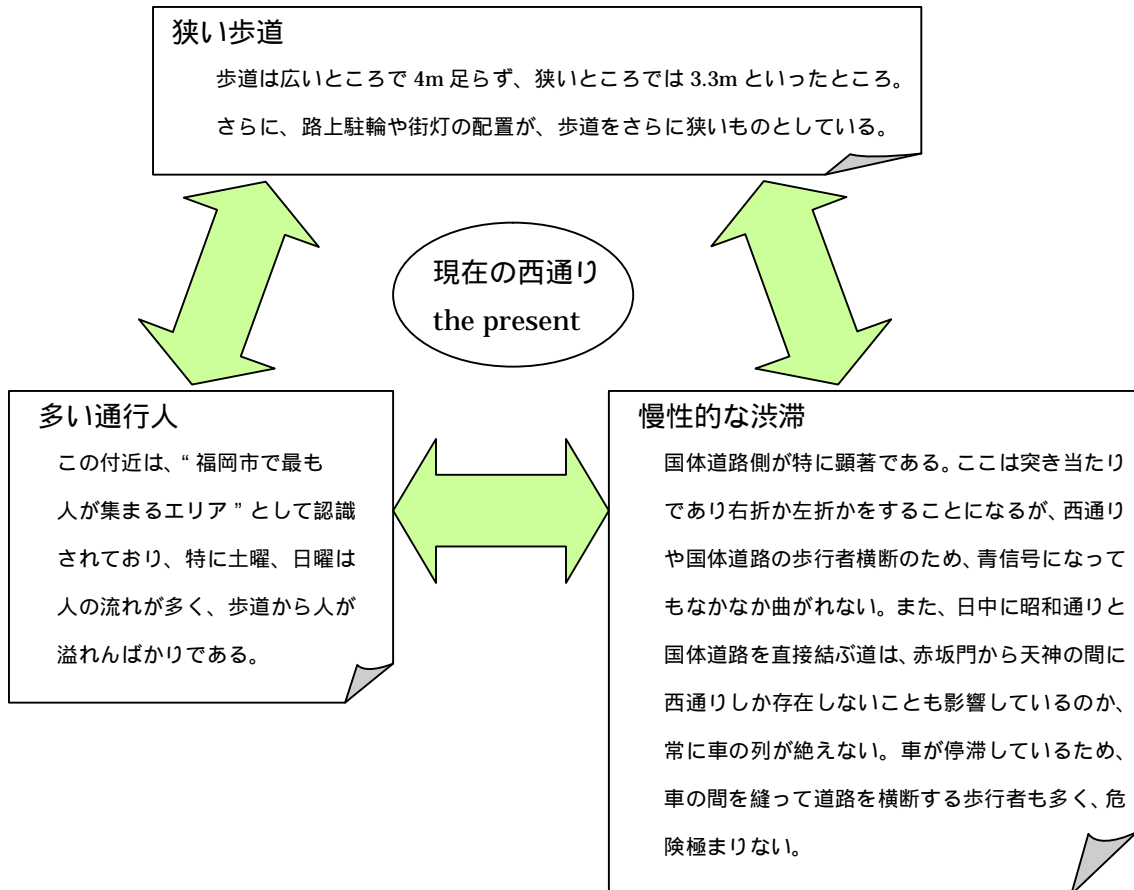
天神地区は、誰もが知る福岡市で一番の繁華街である。この一角には、三越や岩田屋といった大型デパートから、セレクトショップや居酒屋といった小・中規模の店舗まで、様々な店が混在している。ここでは近年大幅に人通りが増加した『天神西通り』にスポットを当て、このエリアの問題点と可能性、そして将来のビジョンについて考察し提案する。

天神西通りの説明

天神西通りは、昭和通りと国体道路を結ぶ全長 450 メートル程度の片側 1 車線ずつの道路である。この通りの延長線上に位置する親富孝通りから取って代わるように福岡市一の繁華街となり、現在では岩田屋付近を中心として連日多くの人や車が行き交っている。

天神西通りの抱える問題

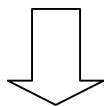
相互に関わり合う諸問題のモデル化



提案

メインテーマ

まちづくりの3つのコンセプト・・・楽しさ、安全さ、快適さ



Main Proposal

『天神西通りの休日の歩行者専用化』

Sub Proposal

『座れる空間の創出』

『フリースペースの設置』

提案に至った思い



上の2枚の写真も参考にしながら話を進める。左の写真は土曜日の午後4時頃の西通り、右の写真は別の土曜日の午後4時頃、西通りに接続するきらめき通りの写真である。写真からもわかるように、西通りは歩道がとても狭い上に路上駐輪も多く、歩行者もとても多い。そしてその歩行者のすぐ傍まで車が迫っており、狭苦しい印象を与える対してきらめき通りは、左右ともに歩道として広いスペースがとられており、交通にもそれほど問題をきたしていない。また、街路樹もビルとは離れた位置にあること、歩道とデパートの旗のデザインが街によくマッチしていることが、ゆとりある快適な空間を創り出している。また、このゆとりある空間には商業を行う上でも大きなメリットがあると考え。すぐ傍に車の迫る西通りでは、どうしても歩行者の視野が狭まりがちになってしまうが、幅のある歩道を備えるきらめき通りでは歩行者の視野に広さを持たせることを可能とし、1階部分のショーウィンドウにも目が行きやすくなる。その結果それが購買意欲の向上にプラスに働くと考えられるためである。ごちゃごちゃした環境でものを眺めたときと広々とした環境でものを眺めたときとは明らかに見え方も違って来るであろう。

また、現在西通りを行き来する車についても考えてみる。天神西通りラインパーキングの営業終了に伴い、西通りに面した駐車場は1つもなくなった。すなわち、西通りを通る車は目的があって西通りに来ているとはとても言い難い。むしろ道を通ることが一番の目的といっても過言ではないであろう。そこで、特に歩行者が多く危険の多い休日に限り歩行者用の道路にするという限られた役割を与えることは、狭々とした西通りを快適な空間にかえることに非常に有益であると考ええる。

さらに、歩く空間を創り出したということは、同時に座れる空間も求められる。現に歩行者の多い渡辺通りに程近い警固公園には、段差を利用して座っている人たちが多く見られる。また、近年ではオープンカフェをよく見かけるようになったが、これも座る空間の創出に大きな役割を果たしている。具体的には、街路樹の傍などの空間に移動可能なベンチを並べて設置し、平日は西通り周辺の店舗やビルにそれらを保管してもらうという方法をとるのはどうだろうか。小さなことではあるが、周辺の店舗もまちづくりに関わることができ、快適な空間を生み出そうという意識が通り全体に生まれるのではないか。そしてそれが予測できない大きな新たな流れを生み出す可能性もあると期待してのものである。

2011年には博多駅の改装が終わり、博多駅周辺の一体的なまちづくりも始まる。ここで博多駅が魅力的な空間に生まれ変わったならば、本来天神にいたはずの人が博多駅方面に流れる、という事態も起こりかねない。そうなれば西通りも深刻な被害を受けるはずである。これを防ぐためには、西通りを今以上に魅力的に、活気をもたせることが求められる。そこで、休日は車道の中心部をフリースペースとして1日ごとに有料で開放し、歩いて楽しい街を創り出すのはどうだろうか。屋台型の小さい店舗を開くもよし、パフォーマンスをする場にしてもよし、個人のミニ写真展を行ってもよし。そのようなスペースは希少なものであるため、非常に価値あるものであるし、また、都会にあって人と人とのつながりを感じられる場になるのではないか。

参考

天神ピクニック

2004年より、天神で『天神ピクニック』というイベントが毎年行われている。これは、「都心の過密から生じる課題の解決や公共空間、各種施設の利用方法の改善に取り組むこと」「歩行者が快適で安全に回遊でき、都心ならではの刺激的で快適なライフスタイルを楽しめる都心地区へと天神地区を再生すること」を目的として始まったものである。天神の一部道路を車両進入禁止にしオープンカフェを設置したり、フリッジパーキングを試験的に導入したり、天神地区の交通機関のフリーパスを発行したりしている。この事業の優れているところは、まちをよくするために積極的に新しいことを行っていることであると思う。実際にやってみないことには何も始まらない。その考えに共感できる部分があるからこそ、多くの協賛があるのではないだろうか。